

1. 中間報告書（2024年9月30日）

活動実施期間	2024年4月1日 ～ 2024年9月30日
【上期の活動内容】 ①食品取扱量の増加については、食品関連企業・個人・団体から約20トン、購入した食品は約30トンで合計約50トンとなっている。昨今の寄食品減少により、目標達成はかなり厳しい状況である。 しかし、コストコの定期集荷が始まり、新たな取引企業は増えている。 なお、寄付金により運搬車両の板金修理をしたことで、引き続き安心して食品集荷が行えている。 ②食品提供者数は26,850人で、目標人数の57%を達成している。 ③ひとり親家庭等100世帯への食品配布は、月1回の開催にとどまっているが、10月からは那覇市でも食品配布をスタートすることから、開催日を増やす計画を進めている。	活動写真① 運搬車両の板金修理ができ、安心して食品を運搬することができています。 
	活動写真② フードパントリーはLINEのシステムを使用して、予約制で食品が受けとれ事業の構築維持費を利用者にも協力してもらっています。 
	活動写真③ コストコパンの集荷がスタート。 

【NPO法人 フードバンクセカンドハーベスト沖縄】

2. 完了報告書（2025 年5月7日）

活動実施期間	2024 年 10 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
【下期の活動内容】 1. 食品取扱量 30%増加(目標:200トン) - 実績(中間報告まで): 約 50トン(寄贈約 20トン+購入 30トン) - 実績(後期): 65.85トン - 合計取扱量: 約 115.85トン 考察: 食品寄贈全体が減少傾向にある中、115.85トンの取扱量を確保できたことは一定の成果といえる。とくに、コストコとの定期集荷の開始や新規取引先の拡大に加え、本助成金により運搬車両の修理・整備を行えたことで、集荷・配送体制の安定化が実現した点は大きな進展である。目標の 200トンには届かなかったものの、今後の活動継続に不可欠な基盤整備が図られ、持続的な取組の足掛かりとなった。 2. 食品提供者数 5万人 - 実績(中間報告まで): 26,850 人 - 実績(後期): 41,671 人 (うち 18 歳以下:23,901 人) 考察: 想定よりも早いペースで提供人数が増加し、特に子育て世帯を中心に支援が広がった。寄贈食品に限られる中でも、限られた資源を有効に活用して提供体制を維持できたこと、那覇市での新拠点展開などにより配布対象が広がったことが奏功した。 3. ひとり親家庭等 100 世帯への月2～4回の食品配布 - 実績: 開催頻度:月1回～4回 4月 97 世帯／5月 87 世帯／6月 92 世帯／ 7月 109 世帯／8月 106 世帯／9月 100 世帯／ 10月 149 世帯／11月 178 世帯／12月 214 世帯／ 1月 202 世帯／2月 250 世帯／ 3月 263 世帯 合計 1,847 世帯。	活動写真①  車両荷台部分の床板 活動写真②  前面に床板を置いたことで食品を効率よく運搬できるようになった。

考察:

当初の目標は「月2～4回、100世帯への食品配布」だったが、実際には月1～4回の開催で、月平均154世帯、年間合計1,847世帯への配布を実施した。10月の那覇店開設により、配布回数と世帯数は大きく増加し、3月には263世帯に達した。開催頻度は祝日や連休等によりばらつきはあったが、支援対象の拡大と地域の広がりにより、結果的には目標を上回る成果が得られた。

活動写真③



冷蔵品を運ぶための保冷バッグ